

「はのおおさま」を ぴかぴかにしよう！

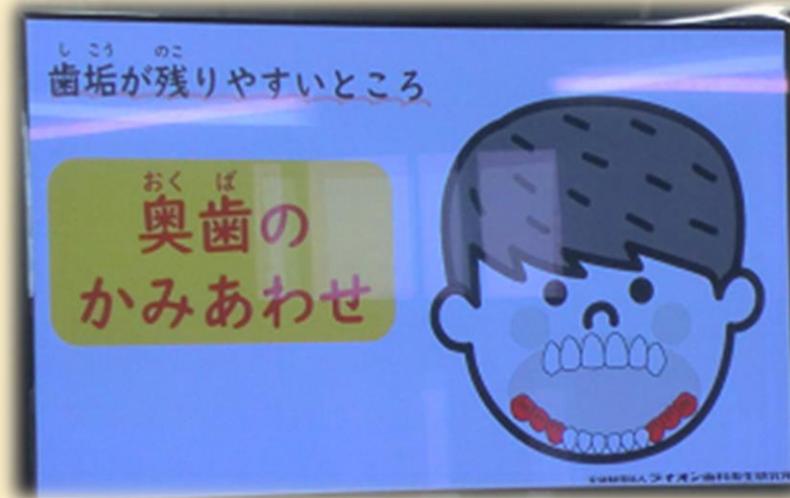
12月13日（金）、1年生は養護教諭を講師として、歯みがき教室を行いました。

第一大臼歯は6歳頃に生えてくることから6歳臼歯とも呼ばれ、永久歯の中では最も大きく、噛む力も最も強いことから、「歯の大様」とも呼ばれているようです。一方、第一大臼歯はむし歯にもなりやすく、生えてから一年以内におし歯になる子どもも多いようです。

今回は、その「歯の大様」を大切にしようということで、なぜ歯みがきが必要なのかを学んだ後、歯垢染め出し検査を行いました。次に、鏡を見ながら磨き残しのあった歯の場所をワークシートに色塗りして確認しました。続いて、上手に磨くための歯ブラシの使い方、また、普段の歯みがきの仕方について指導を受けました。

子どもたちは、あらためて鏡を見ながら磨き残しのあった歯を丁寧に磨き直し、ぴかぴかの歯にすることができました。

今後も丁寧な歯みがきを心掛け、8020を目指してほしいところです。





《歯垢がついていたところ》
 はぐきのすさま。
 どんなみがき方をしたらきれいになりましたか?
 えんべつもちで、もうみがいたらきれいになった。



《歯垢がついていたところ》
 ほむちのまいたはらこまじこがと2はんめ
 どんなみがき方をしたらきれいになりましたか?
 えんべつもちで、もうみがいたらきれいになった。



《歯垢がついていたところ》
 はのはじ、こや上のでこ12
 どんなみがき方をしたらきれいになりましたか?
 3しゅうみがきをしたらきれいになった。



《歯垢がついていたところ》

上のはじ、このは

どんなみがき方をしたらきれいになりましたか？

二十かいずつみかびて三かいみ
かいたらきれいになった。



《歯垢がついていたところ》

みぎしたとはよはの

どんなみがき方をしたらきれいになりましたか？

三かいづつみかびてみかいたこ
きれいになった。



《歯垢がついていたところ》

はよはのあいた

どんなみがき方をしたらきれいになりましたか？

いっしょにみかびたらきれいにな
った。

